

施策評価シート （評価対象年度：平成30年度）

1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	1 活動・発表・交流の場と機会の提供	② 施策番号	7701
③ まちづくりの方向〔政策(章)〕	1 すべての人が尊ばれ、その個性が発揮できるまち		
④ 基本施策〔施策大(節)〕	4 だれもが、いつでもどこでも学べる生涯学習推進のまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	2 生涯学習内容の充実		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名		
教育部	文化振興課		

2. 施策の現状把握

〔1〕施策の対象・意図

① 施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか)	市民
② 意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか)	学習活動の機会提供や育成、支援を通して、市民の学習ニーズを満足させるとともに、地域社会に貢献できる人々を育てる。 教養及び文化に関する各種公民館講座を設けることにより、市民の学習への向上心を高めるとともに、市民の交流のより、豊かな感性と充実した人生を送ることへの一助とする。
③ 環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか)	国においては、平成20年の教育基本法に基づき「教育振興基本計画」が策定され、平成20年度から10年間の目指すべき生涯学習の理念が明らかにされた。また、府においても「新大阪府生涯学習推進プラン」が策定された。泉南市においても平成27年10月に「泉南市教育大綱」が策定されている。

〔2〕施策指標及び推移

施策指標(成果指標)		単位	指標とした理由・考え方
①	公民館利用者 計算式	人	公民館が、生涯学習の場として、市民が利用しやすい場であることを検証基準とする。
②	講座参加人数 計算式	人	公民館が開催した、講座の参加人数。教養及び文化に関するさまざまな講座を開催しているが、市民ニーズに合致した事業であるかを図る基準とする。
③	計算式	人	

指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	備考	
① 公民館利用者	人	目標値	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	
		実績値	60,885	50,301	51,981	—	—	
		達成率	93.7%	77.4%	80.0%			
② 講座参加人数	人	目標値	5,000	5,700	5,700	5,700	5,700	
		実績値	5,481	2,856	4,096	—	—	
		達成率	109.6%	50.1%	71.9%			
	千円	目標値						
		実績値						
		達成率						

〔3〕施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標				総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化	
		指標名	単位	H29実績	H30実績	R1見込	H29実績	H30実績	R1見込	総合評価		今後の方針
1	公民館運営事業	利用者数	人	50,301	51,981	60,000	33,923	35,625	35,924	A	ア	◎
2	講座開催事業	参加者	人	2,856	4,096	3,500	7,809	8,079	7,718	A	ア	○
3												
4												
5												
6												
7												
8												
計	2						41,732	43,704	43,642			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	公民館は、地域住民のために実際生活に即した教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図っており、生涯学習内容の充実に貢献していると考えます。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	平成29年度は空調設備改修工事があったため、公民館利用者が減少となった。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	公民館には、多くのクラブがあり、自主的に活動を行っている。そのクラブ活動が効果的、効率的に行えるよう、支援しているため、適切であると考えます。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	公民館は、市民利用において、安心安全な場所を提供すること及び講座開催の両面から鑑み、この施策を遂行することが適正であると考えます。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	公民館を取り巻く様々な状況、高度化する市民ニーズに対応できるよう、柔軟に事業内容を検討する必要があると考えます。

4. 一次評価(所管課評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
一次評価	B	市内4公民館において、施設面での老朽化がみられ、市民に安心、安全な場所であるよう整備していく。また、講座に関しては市民ニーズにあった企画や、事業を展開していく。効率性の観点からもコストを意識した事業運営を行っていくことが課題である。	

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	老朽化した館の修繕については、安全面で緊急性の高いものから順次行っていく。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	講座企画については、関係部署と調整・連携し実施する。
中長期的対応 (3~5年をめぐりに取り組む改善案)	施設改修や、大規模な予算が伴うものについては、十分に精査した上で、予算要求を行っていく。

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
二次評価	B	公民館運営を通じた活動・発表・交流の場の提供が適切に行われている。アンケート調査等による新たな講座や新たな層への企画展開等を検討されたい。施設の保全については、計画的保全に努め、公民館施設の適切な維持管理を引き続き進められたい。	